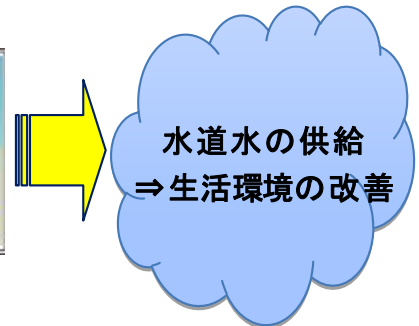
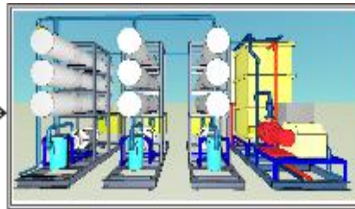


インドネシア島嶼地域に飲料水を 福井のろ過装置導入のための調査を採択

国際協力機構（JICA）は、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において、**環水工房有限公司（福井県福井市、坂井 正明 代表取締役）**が提案する「**水道未普及地域の解消に用いる軽量、小型、省エネ型 RO 膜ろ過装置の製造と販売に関する基礎調査**」（インドネシア）を採択しました。

インドネシア西マランガイ県の島々では生活に井戸水を使用していますが、海水から混入する塩分やカルシウムの濃度が高く、飲料水はもちろん、洗濯水としても十分に使用できない状況にあります。県の水道普及率は、県都でも 43%、地先の島々では殆ど普及が進んでおらず、水道普及計画における課題となっています。

この問題に対し、除濁技術を基礎とした様々なろ過装置の納入実績がある同社は、その強みを生かし、島嶼地域にも導入可能な軽量・小型かつ省エネ型の RO（逆浸透）膜ろ過装置を用いて、井戸水を処理し水道水として供給することを目指します。



「小型 RO 膜ろ過装置」に浸漬 UF 膜ろ過装置を連結
⇒「濁り」と「塩分」を除去

本調査では、課題把握や水質調査、事業展開のための市場調査やパートナー企業発掘等の活動を通じ、開発に資するビジネスプランの検討を行います。同社の取り組みにより、島嶼間格差の是正を図りながら水道普及率向上を目指すことで、現地の水道事業管理体制が構築されることも期待されます。また北陸とインドネシアの交流促進、地域活性化への寄与も期待されます。

なお本調査は、我が国の中小企業を対象とした「基礎調査」（注）として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

（注）基礎調査は、優れた製品・技術を有する中小企業の途上国進出による開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもの。企業は、検討に必要な情報収集と海外展開事業計画の策定を行う。2017年度第1回は今年3月に公示を行い、13件を採択した。

参考：（プレスリリース）基礎調査 2017年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001ynho4-att/fs_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

★おかげさまで JICA 北陸設立 25 周年！★米の付



JICA 北陸 担当：松柴（まつしば）、小島（こじま）
 TEL: 076-233-5931 FAX: 076-233-5959
 E-mail: Matsushiba.Yuka@jica.go.jp
<https://www.jica.go.jp/hokuriku/>